



追伸…今日本ダンゴムシ協会ではダンゴムシの事件簿を募集中です。ダンゴムシにまつわる事件、面白

いエピソードがありましたら、ぜひお知らせください。

## はなまるエピソード、ポンポーン

すとうあさえ

夫「きょうは、だれと遊んだの？」

私「かずちゃん、しんぺい君」

夫「えっ、でも、かずちゃんとしんぺい君は気があ  
わないだろう」

私「そうよ。だから、この子は大変だったのよ。か

ずちゃんと少し遊んだら、今度はしんぺい君って  
いう感じで、大いそがしよ。毎度のことだけど  
ね」





んていい子だ」「なんて面白い子だ」とおおらかに受け止めて笑っていたときの、あのあたたかな平和的雰囲気ただようノリです。

会話がどのように展開するかといいますと、まず、朝の散歩担当の夫から、お散歩エピソードをききながらニコニコガヤガヤと朝食をとり、夜は夕方散歩担当者やその日家でまると一緒にいた人を中心に、「きょうのまるちゃん報告」で、盛りあがりながら夕食、という具合。その内容は、「きょうは、だれと遊んだ？」と「まるは、ほんとにカッワイイんだから」の二つは必然的に入ることになっていますが、その他は、枯れ葉が風に舞つてとぶのをまるが追いかけてかわいかったとか、桜の枝をくわえて歩く姿が「木枯らし紋次郎」みたいだったとか、工事監視員のおじさんに、「立派な犬だね」とほめられてうれしかったとか、たんぼの綿毛をとばしたら、びっくりしてワンツとほえたとか、見事に、ほ

んと見事に、犬馬鹿会話一色。関係者以外には興ざめするような内容ですが、私たち家族にはかなり癒し効果があるようです。その日にいやなことがあっても、まるの話聞いて笑うと一気に楽しくなって、気持ちまではずんできちやうのですから不思議です。

会話ははずむといえば、私が担当している幼稚園の遊びのクラスの後も、パートナーの千春さんとうまく話が盛りあがります。はずみをつけてくれるのは、子どもたちのすてきな感覚です。例えば「きょう、げんくん、コンクリートの穴に絵の具で色をぬってたら、その穴が急になんかこわい生き物が住んでいる池にみえてきちゃってね。面白かったねえ」とか「私が内緒話をして、誰にも言わないでねっていったら、ちずちゃんが『私の心には言ってもいい?』って言ったのよ」というように、しばしうっとりしちゃうような話もあります。夢の世界に

